

平成 30 年 12 月 大泉図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 30 年 12 月 20 日（木） 13 時 10 分から 13 時 50 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館（以下「光」） 管理係長、運営調整係長・係員（2）、事業統括係長、子供事業統括係長 光が丘図書館長は欠席</p> <p>(2) 大泉図書館指定管理者（株式会社図書館流通センター）（以下「大」） 大泉図書館長、同館業務従事者（2）、本社スタッフ（2）</p>
内容	<p>施設管理について</p> <p>（光）大雪対策について （大）融雪剤はコンクリートを痛めるため使用を避けている。降雪時は、館長と副責任者および清掃スタッフが雪かきを行う。スタッフに早出出勤の業務命令は行っていない。</p> <p>職員体制について</p> <p>（光）10 月の研修「TRC 特別講演会」について （大）求められる図書館像が「貸出し返却のみではない、まちづくりの中心となる図書館」へと変わってきている等、大泉図書館の目指している地域の拠点となる図書館を考える上で参考となる内容であった。</p> <p>一般事業について</p> <p>（光）10 月実施の「大泉図書館の古書リサイクル市」について （大）前回同様、行列整理のスタッフを開館前から配置した。毎回、開場後の 1 時間に来場者が集中する傾向である。 （光）図書のリサイクルに当たっては、売却目的の方はお断りと表示をしていただきたい。また、CD のリサイクル提供基準はあるか。 （大）解説書を亡失したもの、キズにより一部音飛びがあるものをリサイクル提供の検討対象としている。</p> <p>（光）11 月実施の「大泉特選落語会」について （大）今回初めての試みとして、年 4 回開催している大泉落語研究会の方による「大泉寄席」の参加者アンケートで特に人気の方 2 名に出演していただき、「大泉特選落語会」を開催した。年 4 回開催の「大泉寄席」とは別枠での開催である。人情ばなしでは涙ぐむ方もいるなど、大変満足していただけた。</p> <p>児童・青少年サービス事業について</p> <p>（光）10 月実施の「あきのおたのしみ会 みんなで学ぼう社会福祉 - 聴導犬を知ろう！」について （大）前半は、日本聴導犬推進協会の方が柴犬による聴導犬の仕事のデモンストレーションを行った。目覚まし時計の音に反応して飼い主を起こす、新聞を取りに行くなどの聴</p>

導犬のかわいらしい様子が好評で喜ばれた。今回、聴覚障害者の方の参加申込みがあり、手話通訳士による通訳を行った。後半は、イヤーマフやゴーグルなどを使い、身体が不自由な方の疑似体験を行い、社会福祉について考える良い機会となった。

(光) 学校支援員による読書旬間の取組について

(大) 読書旬間の期間や回数は学校によって異なり、10日間、1か月間、年に1回、3回など様々である。小学校は、学校支援員によるブックトーク、アニメーションを行う学校が多い。11月には泉新小学校の公開授業でブックトークを行った。他校の支援員も館外研修として公開授業を参観し、授業支援のあり方について意見交換を行った。中学校は、読書旬間の1週間、昼休みの校内放送で本を紹介する学校が多い。また、今回新しい試みとして、栄養士の先生と相談し、物語の中に出てくる食べ物を給食に出していただく給食コラボを行った。生徒達に大変好評だったと聞いている。

(光) 「第2回大泉図書館 図書館を使った調べる学習コンクール」について

(大) 最初に調べる学習コンクールを実施した大泉、関町、貫井、南田中、平和台で各々の館の優秀作品を選び、次に5館の合同審査を貫井図書館で行った。合同審査の入賞作品は全国コンクールに推薦した。今年度は、中学校で図書館を使った学習を行っていたため声掛けし、多くの作品を集めることができた。

その他

(光) 10月の苦情等の「カーオーディオ内でのCDのシール剥がれ」について

(大) CDが取り出せず延滞扱いとなり、本が借りられない上、車の修理費用がかかるという申し出があった。

(光) 今回はCDの貸出更新をすることにより対応していただいたが、次の貸出しができないことのないよう、CDの状態データを修理中にするなどしていただきたい。また、貸出し時にはCDに貼付けしてあるシールの点検をしていただきたい。

(大) 承知した。

(光) レファレンスの受付件数が多い理由について

(大) 以前、モニタリングできちんと件数をカウントするよう指導があり、カウンターバックに数取機を置いて、本の場所案内や閉架書庫の資料請求といったクイックレファレンスもカウントするようになったためである。

(光) 10月開催の「利用者懇談会」について

(大) 「地域とのつながりから大泉図書館を考える」をテーマとし、地域連携を意識した事業、避難拠点訓練への参加について話をし、双方向の建設的な懇談会となった。

(光) 11月実施の「利用者アンケート」の自由意見について

(大) 今年度は接遇に関して好意的なご意見を多くいただき、スタッフの励みになっている。昨年度は異動により慣れないスタッフが通年より多かったが、1年経ち、お客様の顔が見えるようになってきたこと、接遇研修、クレーム等を日誌により情報共有し、全員で気を付けていることから、良いご意見をいただけたのではないかと考えている。

(光) 社会福祉法人つくりっこの家への協力について

(大) 障害者施策推進課の依頼を受け、10月からつくりっこの家のメンバーが野菜やクッキーなどの自主生産品を販売するために、大泉図書館のピロティをお貸ししている。